

5月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

「楽しい」から「楽しむ」へ

副校長 太田 智樹

葉桜の若葉がまぶしい季節となりました。保護者並びに地域の皆様には、日頃より本校の教育活動を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。

新年度が始まって約一か月が経ち、子どもたちは少しずつ学校生活のリズムに慣れてきているように感じます。初めの頃は緊張した面持ちで登校していた子どもたちも、友達や先生との関わりの中で、笑顔を見せる場面が増えてきました。

さて、今年度は、5月下旬に運動会を開催します。実行委員会の子どもたちを中心に、2月頃から準備を始め、「同心協力 笑顔があふれる 鳥小全力運動会！」というテーマを決めました。例年と違い、年度を越えて取り組む活動となるからこそ、代表委員会の児童が中心となってテーマを伝えていくことを大切にしてきました。

第47回運動会では演技を2学年合同で実施します。実行委員会では、上級生が責任ある役割を担ったり、練習の場面では上の学年の子どもたちが下の学年の子どもたちに教えたりするなど、これまで以上に低・中・高学年のブロックごとのまとまりを意識した種目づくりをしています。本番の演技だけでなく、そこに至るまでにどのような練習や関わりがあったのかについても、ぜひご家庭で話題にさせていただければと思います。

また、もう一つ注目していただきたいのが、高学年の「係」の活動です。実行委員や応援団だけでなく、表示、会場、決勝審判、得点、用具、放送、体操など、多くの係があります。運動会で輝く場面は、競技や演技だけではありません。多くの子どもたちが、この「係」の仕事に誇りをもって取り組んでいます。先生たちがお膳立てをする「楽しい運動会」ではなく、自分たちでつくり上げていく喜びを実感できる「楽しむ運動会」を目指して、参画意識を育てていきたいと考えています。

例年、5月上旬頃から、ニュース等では熱中症の話題が出始めます。教職員も、集合時には日陰に集めたり、水分補給を促したりするなど、安全管理に十分配慮しながら教育活動を行っていきます。その上で、ご家庭にもぜひご協力いただきたいことがあります。それは、暑さに少しずつ体を慣らしていく「暑熱順化」です。湯船に浸かったり、軽く体を動かしたりして汗をかくことを習慣化することで、熱中症になりにくい体づくりにつながります。第47回鳥が丘小学校運動会を、閉会式まで元気に楽しめるよう、ご協力をお願いいたします。

運動会に向けて、保護者の皆様には身体面だけでなく、精神面での支援や持ち物の準備など、ご負担をおかけすることもあるかと思えます。また、地域の皆様にも、さまざまな面でご理解とご協力をお願いすることがあるかと存じます。鳥が丘小学校のすべての子どもたちにとって、心に残る素晴らしい運動会となるよう、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。